

JIS A 5548 タイプⅡ F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

大形タイル用接着剤 GL-30

平滑な内装壁面にセラミックタイル（陶磁器質タイル）を施工するのに適した、アクリルエマルジョン系の接着剤です。モルタル・PC板・ボードなどの下地で、台所やトイレなどに使用できます。



合成樹脂系エマルジョン形接着剤

水性エマルジョン形

容 量	包装形態	梱包単位
20kg	プラスチック容器	1 (コテ付)

用 途

適用箇所	屋内の壁面（住宅の浴室・台所・トイレ）
適用下地	乾燥したモルタル、合板、ボードなど
適用仕上げ材	セラミックタイル（陶磁器質タイル）

性 質

外 観	白色 パテ状
主 成 分	合成樹脂系エマルジョン
張付け可能時間	20分以内/23℃

標準使用量

モルタル下地	ボード下地
2.1~2.7kg / m ²	1.7~2.1kg / m ²
7.4~9.5m ² / 20kg	9.5~11.0m ² / 20kg

使用方法

【下地の確認】

- モルタル下地の場合
下地は平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間（冬期は4週間）以上養生し、よく乾燥している事を確認します。
- ボード類下地の場合
タワミのない厚手の合板など表面強度の高いボードを使用し、目違いや目地あきのない下地とします。



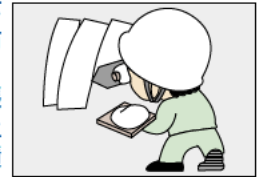
【下地の調整及び清掃】

- 1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材で補修します。
- 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材で補修します。
- 3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。
- 4.下地が湿っている場合は施工をしないで下さい。

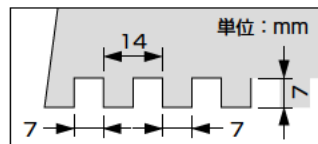


【接着剤の塗布】

- 1.接着剤は左官ゴテを用いて、下地に押し付けるよう均一に塗布します。
チェック：一回の塗布面積は、張付け可能時間内に仕上げ材を張り終える面積として下さい。

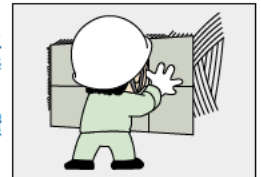


- 2.接着剤を塗布した後、規定のクシ目ゴテでクシ目を立てます。



【仕上げ材の張り付け】

- 1.クシ目を立てた後、すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。
チェック：張付け可能時間は、環境により異なります。
- 2.仕上げ材は、もみ込むようにして張り、仕上げ材裏面全体に接着剤がなじむように、タタキ板などで充分圧着します。
- 3.仕上げ材を適宜剥がし、仕上げ材裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。



- チェック：・仕上げ材表面に付着した接着剤は、水を含ませた布で拭き取って下さい。
・目地直しは、接着剤（GL-30）が硬化する前（張り付け後20分以内）に行ってください。

【養生】

仕上げ材張り付け後2日以上養生し、接着剤を硬化させます。

【目地詰め】

- 1.目地詰めを行う前に、仕上げ材のズレや接着剤の硬化不良がないことを確認します。
- 2.目地用ゴムゴテを用いて、目地部にCG-411（既調合目地材）が完全に充てんされるように塗り込みます。

チェック：出入り隅部、建具枠、設備機器との取り合い部にはシーリング材を充てんしますので、セメント系目地材を塗り込まないで下さい。

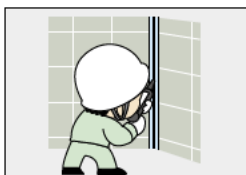


- 3.仕上げ材表面に残った目地材はゴムゴテを用いて拭き取った後、湿したスポンジで拭き取ります。
- 4.目地材が乾燥した後、乾いた布で拭き取り、仕上げます。

【端部の処理】

- 1.入り隅部はのみ込みとしないうで、シーリング材を設けます。
- 2.建具や設備機器との取り合い部には、シーリング材を設けます。

チェック：シーリング材が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。



取り扱い上の注意事項

GL-30を取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 屋外・床面・常時40℃以上となる場所には使用できません。
- 浴槽内・水槽内・大衆浴場など常時水掛かりとなる場所、及び、鉄板・塗装面・タイル面など非吸水下地には使用できません。
- 浴室に使用する時は養生時間を充分に取り、接着剤を完全に硬化させて下さい。
- 接着用途以外には、絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。（0℃以下では凍結することがあります）
- 取り扱い場所及び作業場所は換気を行って下さい。又、施工後も接着剤が硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕1～2時間）を行って下さい。
- 使用時は必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 開缶した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイをして下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落して下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- GL-30をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区信勤町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621		技術開発センター FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, L.T.D.

1708Mac04